■コンセプト ~ 『新たに生まれ変わる街~賑わいの創出』

【賑わい中心拠点】

・当駅周辺は、「門真市都市計画マスタープラン」において、門真市駅や古川橋駅の周辺と併せて、「賑わい中心拠点」として 位置づけられており、この度、工場地跡には商業施設や大型集合住宅などが建設され、大きく生まれ変わり始めている。

【デザイン案】

- ・街が生まれ変わる様を「種子が芽吹く瞬間」とイメージとし、駅舎には、大地 としてのアースカラーを取り入れるとともに近似色をランダムに用いる。
- ・周辺の土地利用の変更により、調和の状況が変わったとしても、駅舎は存在感を保てるものとする。

【地元市の行政計画・意向】

- ・「賑わい中心拠点」として、先に建設された商業施設等と一体的な街が形成 されるよう全体的な調和を求める。
- ・門真市及び守口市からの請願により建設となった駅であり、市民が愛着を持てる、今までの大阪モノレール駅舎と異なるデザインを求める。
- ・駅利用者の多くが商業施設への来場者であるとの調査結果もあり、駅利用者により、さらなる賑わいの増加に繋がるデザインを求める。

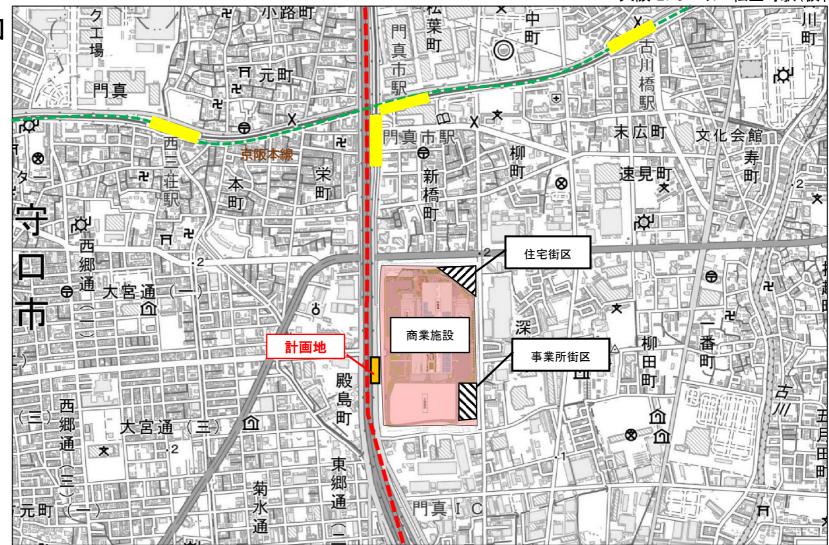


■事業概要

事業名称	大阪モノレール延伸事業	マモノレール延伸事業 松生町駅 (仮称)					工事種別		新築	
敷地概要	事業地の位置	門真市松生町地内 外								
	用途地域	準工業地域						/地域	準防火地域	
	敷地面積		建蔽率	ζ	60%		容積率		200%	
	その他制限等									
施設概要	事業種別		道路			河川			港湾	
			公園緑地							
		Y	その他(駅舎)							
	構造•規模	R C・鉄骨造(土木建築構造物)、地上 3 階建て(2 階コンコース階、3 階ホーム階)、 延べ面積:約810㎡(総床面積:約2,200㎡)								
担当部署	設計担当 工事担当	モノレール建設事務所/(インフラ外は、大阪モノレール株式会社)								
	施設所管	モノレール建設事務所 (完成後は枚方土木に引継ぎ) / (インフラ外は、大阪モノレール株式会社)								

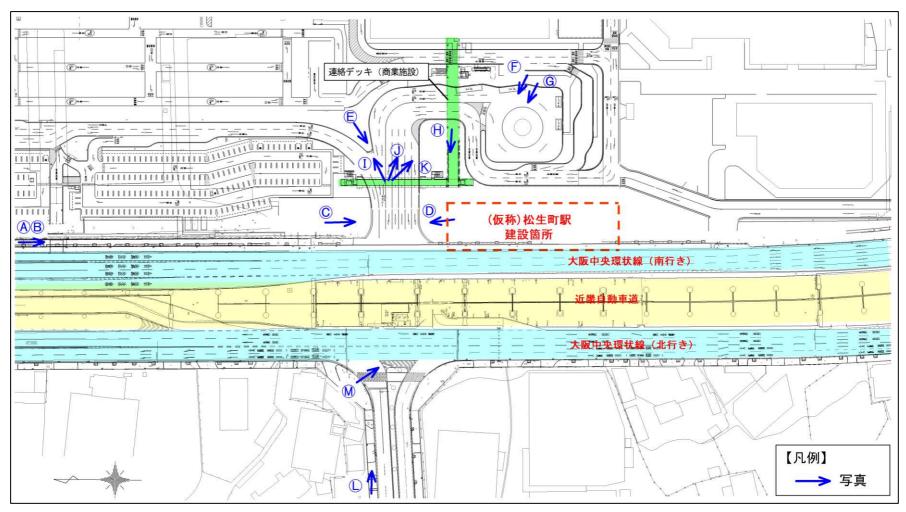
■付近見取図





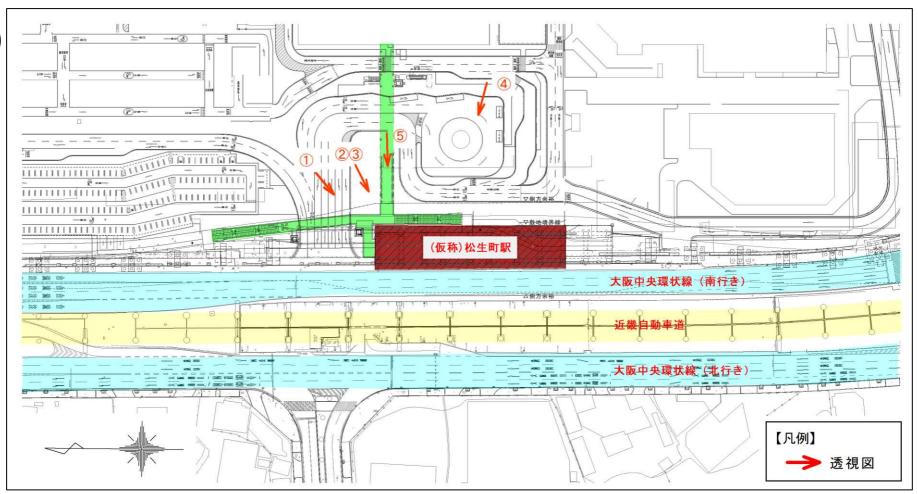
■配置図(現況)





■配置図(計画)





■周辺状況(写真)









Α

С

D









Ε

В

G

Η





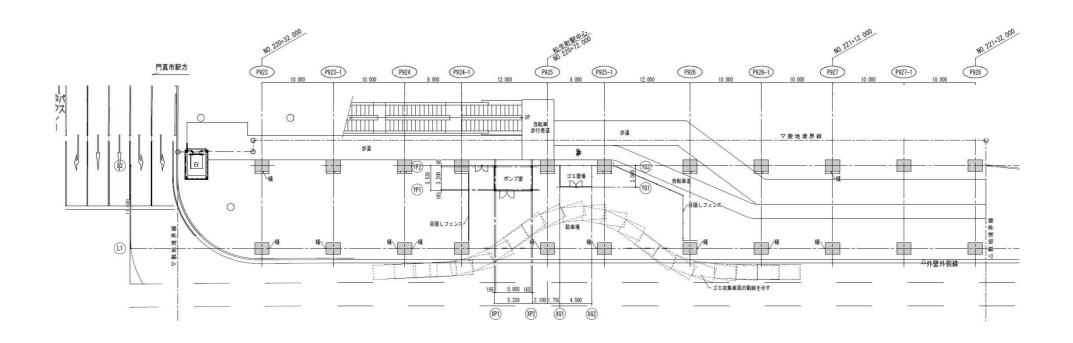


I J

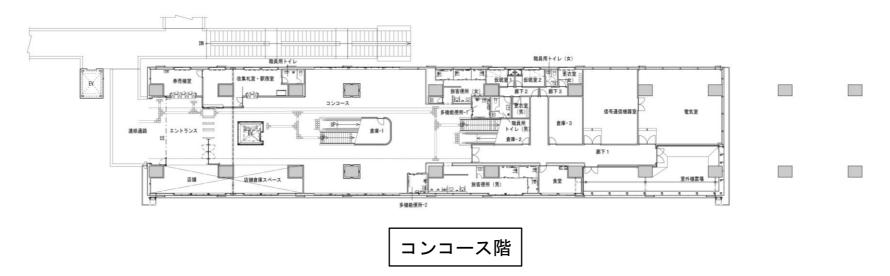


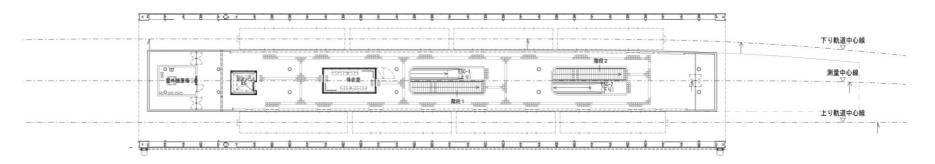


■平面図



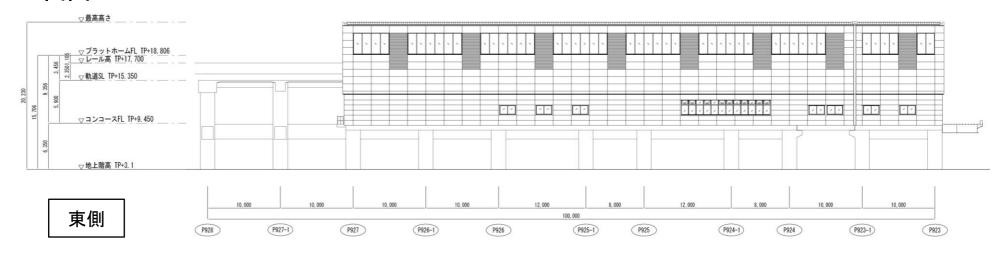
地上階

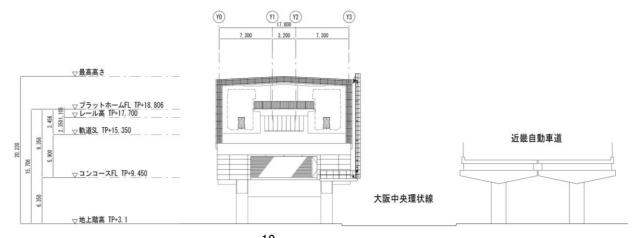




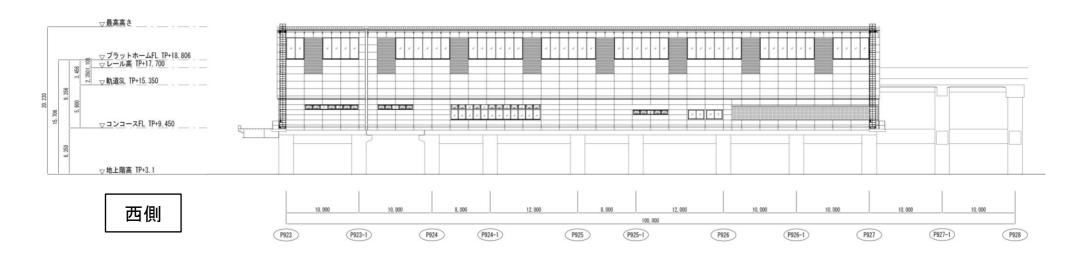
ホーム階

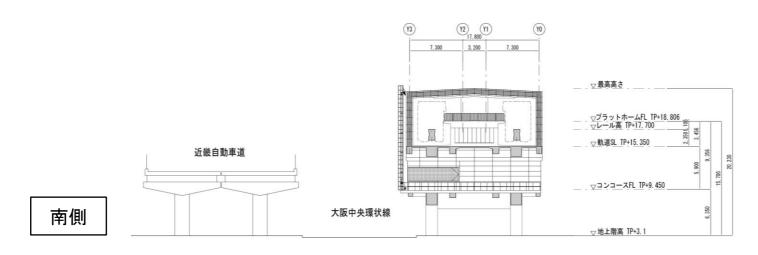
■立面図





北側





■景観形成の対応報告シート(前回(第2回)意見をふまえ)

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応			
	外から室外機が見える等の景観上気になる要素が たくさん出てくると思うので、それらを落とし込んで検討 してほしい。	外壁面や天井面に室外機や配管をなるべく露出させず、 すっきりした空間となるよう心掛けた。			
駅下部の空間	モノレール下の駐輪場は天井が高く、怖さや暗さを感 じにくい。感じが良いことが一番大切であるため、ポン プ室等も一緒に考えてほしい。	駐輪場が整備された場合の見え方について再確認したが、ポンプ室やゴミ置場は陰に隠れてしまい、賑わいに繋がるスポットにはなりづらいと考えられるため、空間			
	駅下のポンプ室とゴミ置場の色をどうするのか検討し ているが、コンセプトの緑や松ぼっくりという考え方より も、トータルでデザインされるとよい。	に馴染むものとなるよう、シンプルにホワイト系で明るい 印象となるものにするように考えた。 サイン計画については、美しい風景がつくられるよう、門 真市及び大阪モノレール株式会社に対応をお願いし た。			
	公共が管理する駐輪場ではサインが多くなるケースも あるが、美しい風景をつくるためよく考えてほしい。				

■景観形成の対応報告シート(前回(第2回)意見をふまえ)

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応		
	コンセプトは良いが、駅周辺の建物や今後建設される建物などに影響を与えられることが景観の本質だと思うので、公共が作る景観の提案として計画してほしい。			
全体の空間	土木構造物全体でスタイリッシュさや清潔感もしくは 商業施設に付随するので少しポップなイメージであっ たりと、様々なアイデアがあると思うが、高架構造物は 大きくて印象的であるため、どんな印象を与えるかを 考えてほしい。	今回整理したコンセプトにおける「芽吹き」や「賑わい」 が将来にも引き継がれるよう、大阪モノレール株式会 社に内部整備にあたっての対応をしてもらうこととなっ た。		
	ホットなスポットはどこになるのかなども抑えた上で、最 後にもう一度景観づくりを確認してほしい。			

